

オランザピン「日新」を服用される 患者さんをご家族の方へ

大切な注意です。必ずお読みください。

このお薬は、脳内の神経伝達物質のバランスを整え、気分を安定させます。

お薬を飲む前に

以下の点に心当たりのある方は、お薬を飲む前に必ず主治医または薬剤師にご相談ください。

- 次の方は、このお薬を飲むことはできません。
 - ・ 糖尿病の方
 - ・ 過去に糖尿病と言われたことのある方
- 次の方は、糖尿病になりやすい方ですので、特に注意が必要です。
 - ・ ご親族の中に糖尿病の方がいる方
 - ・ 高血糖の方
 - ・ 肥満の方

高血糖及び低血糖に注意してください

このお薬を飲んだ後、血糖値が著しく上昇し（**高血糖**）、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡（激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、深く大きい呼吸、判断力の低下）などの重篤な状態になることがあるため、定期的に血糖値の測定などを行う場合があります。また、反対に血糖値が低下することもあります（**低血糖**）。

患者さんをご家族の方は、高血糖や低血糖があらわれる場合があることを十分に理解できるまで説明を受け、これらの症状があらわれた場合には、このお薬を飲むのをやめて、すぐに受診してください。

● 高血糖症状

- ・ 激しいのどの渇き
- ・ 水やジュースをたくさん飲む
- ・ 尿の量や回数が多い



など

● 低血糖症状

からだがだるい、強い空腹感、冷や汗、動悸（どうき）、手足のふるえ、うとうとする、意識が薄れる

など

〈裏面も必ずお読みください〉

お薬の飲み方について

- 主治医に指示された用量を守ってください。飲み忘れた場合は、気が付いた時にできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。**決して2回分を一度に飲まないでください。**
- 多く飲んでしまった場合、脈が早くなる、攻撃的になる、ろれつがまわらなくなる、手足のふるえやこわばり、意識障害などがあらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、すぐに主治医または薬剤師にご相談ください。
- 症状が回復したと思っても、**自己判断でお薬を飲むのをやめしまうと、症状が再発する可能性が高くなります。**お薬をきちんと飲み続けましょう。

生活上で注意していただくこと

- **体重が増加**することがあります。体重が増加し始めた場合には、医師に相談し、食事内容を改善したり、運動をするなどしてください。
- お薬を飲み始めてしばらくの間、めまい、動悸（どうき）、立ちくらみなどが起こることがあります。心筋梗塞などを起こしたことがある方、心不全の方、脳血管の病気や血圧の低下が起こりやすい状態にある方はご注意ください。
- 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがありますので、**高所での作業や自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。**
- 飲酒によりお薬の作用が強くあらわれたり、喫煙によりお薬の作用が弱くなったりすることがありますので、控えてください。
- 子どもの手の届かないところに保管してください。

▶ **その他にも気になることがございましたら、主治医や薬剤師にご相談ください。**

医療機関名・連絡先：

